

# 大津町議会 議会活性化特別委員会行政調査

氏名 山本 富二夫

視察研修名：大津町議会議会活性化特別委員会行政調査

視 察 先：岩手県陸前高田市、奥州市、北上市

期 日：令和6年5月8日（水）～10日（金）

研修テーマ：議会活性化の取り組みについて（議員定数や議員報酬など）

## 研修報告 意見・感想

8日午後から陸前高田市議会との意見交換会を実施。

陸前高田市議会事務局から、昭和30年から18回無投票になったことはないが、人口減少により20名から18名、今回は16名に削減されて19名での選挙が行われた。議員報酬は月額30万円、政務活動費は月額12,500円で20年前からあるので、利用している議員もいる。書類作成が大変であるといわれた。

議員と語る会の基本条例を作って11ヶ所で予算・決算をする予算・決算委員会  
は活発に行われているとのことである。各議員の報告会は年2回の開催を  
することにしていると言われた。

議員間の討議を活発化させることは、うまくいっていない議員の定数減は市民  
からの反対意見はなかったとのことである。議員報酬は月額30万は現行の報酬と  
することで、値上げは見送りとなった。但し、令和5年9月以降市長に対して議  
員報酬の値上げの開催を議会より審議していただくことを望むと要望している。

奥州市議会との意見交換会を9日午後1時30分から議会会議室で行い、議会  
事務局より奥州市議会における議会改革の実践を1時間に渡り説明をしていただ  
き、その内容は奥州市議会の「見える化」の推進に努めますということである。

2022年の議会選挙が無投票になったことに議会は危機感をおぼえ、最初に議長  
マニフェストをつくり、議長就任希望者は所信表明は議場で今任期から取り組み  
市民への約束の表明に基づき議長マニフェストにまとめ、工程表も公表すること  
に。その中には、議員のなり手不足解消に向けた調査研究。模擬議会、ワールド  
カフェや議場・議会見学会の実施と主権者教育の推進に努めて行く意気込みが感  
じ取られた。2023年8月からライブ字幕システムの導入を取り入れられ大型モニ  
ターにライブ字幕を表示されているのは、我が大津町議会でも、至急検討してい  
くべきだと思う。

議会改革の一環として、2023年8月議員間討議のガイドラインの策定をし、住  
民福祉の向上を目的とした討論の中に市政調査会を作り議員のなり手不足対策に  
に取り組みを始められている。

住民との対話の中で、目を引いたのは、ワールドカフェでの市民との対話を重  
視し、住民からの意見は貴重な情報とし、今後の議会や議員における活動に活用  
して、住民からの意見を政策にしている。

2023 年 6 月から生成 A I 活用をワールドカフェや議員間討論だけでは提言内容に見落としが懸念されるため、生成 A I との対話で確認作業を生かしたと言われている。

議員報酬については、他市との報酬を縮めることに市民からのさしたる反対意見は出なかった。不在者投票が多い理由となる取り組みは何かを伺うと、不在者投票のできる場所を全部で 8 カ所設けたことが不在者投票の多さにつながったのではないかと思うと言われた。大津町も役場内やジャスコ以外に不在者投票のできる場所を増やして行くべきだと思う。どうしたら投票率をあげることになるかを議員間討論を議長に開催をお願いすべきだと感じた。

北上市議会議員との意見交換会を、9 日午後 3 時 20 分より開催。

議会事務局より、北上市議会の今までの議会活性化のための取り組みを聞いた後に意見交換会を始めた。

北上市も人口減少にあり、36 名から数回にわたり減らされて 2024 年 3 月の議員定数 26 名での選挙が 8 年ぶりに行われて新議員が誕生、投票率は 50.68%と前々回の選挙より 6.37 ポイントの減であったとの報告があり、また市民に開かれた議会を目指して平成 15 年から今回の選挙までの数々の取り組みを紹介された中議会の活動を市民の皆様知ってもらうことを目的に「市民と議会をつなぐ会」やテーマ別意見交換会、議会モニター制度の導入などを長きに渡り取り組みをされてこられたことは、素晴らしいと思ったが、うまく市民に対して認知されてなくて、2 度の無投票になったと感じた。でも、大津町議員も「町民と議会をつなぐ会」を通年開催し、ワークショップや市民党へのアンケート調査の実施、議員自身が議会外に出てアンケート調査を実施し、また小グループのワークショップの開催は大津町も今後の取り組みとして、ぜひとも必要とされる取り組み方だと感じた。

反省として、もう 1 年前から研修内容を今回の研修を実施していれば、議員定数の意見内容が今回の議会活性化特別委員会の町民に対しての発信が多く町民にお知らせできたと感じた。

議員報酬については、活動量からの算出での議員報酬を取り入れられていた。ちなみに標準活動量から議員報酬を算出された時間が、1,057 時間での算出で計算をして決定をされていた。

今回の研修を通じて感じたのは、議員と町民との意見交換会を早い時期から取り組みをしておくべきだと思った。

今回の研修を議会で報告し、町民と議会の意見交換を通年で行うことが議会に対しての信頼を得るし、議員のなり手不足対策の解消対策としても生かせると感じた。